

平成29年度伊勢原市行財政改革推進委員会第1回会議録

〔事務局〕 企画部経営企画課

〔開催日時〕 平成29年6月27日（火）午後2時から午後4時まで

〔開催場所〕 伊勢原市役所3階3B会議室

〔出席委員〕 7名

鈴木靖夫（会長）

青柳貞徳（副会長）

飯田博

大杉あや子

河原啓子

熊沢学

吉野太

〔欠席委員〕 1名

小林隆

〔事務局職員〕 7名

山口清治（企画部長）

古宮雄二（行政経営担当部長）

細野文和（企画部参事兼財政課長）

桐生尚直（企画部参事兼公共施設マネジメント課長）

成井敦子（公共施設マネジメント課公共施設マネジメント係長）

田中誉人（経営企画課行政経営係長）

熊倉宏海（経営企画課主事）

〔公開可否〕 公開

〔傍聴者数〕 なし

《議事の経過》

1 議題

- (1) (仮称) 第5次行財政改革推進計画の基本的枠組みについて
- (2) (仮称) 公共施設等総合管理計画実施計画の策定について
- (3) 公共施設の受益者負担の適正化について
- (4) 平成29年度当初予算の概要について

※質疑応答・意見は別紙1のとおり

1 議題

(1) (仮称) 第5次行財政改革推進計画の基本的枠組みについて

[主な意見]

| |
|--|
| <p>①IT化の推進</p> <p>国の動きとしてスマート化やA Iの活用などI T推進の流れがある中、計画に掲げる「選択と集中」を実現していくに当たり、伊勢原市においてもこれを取り入れていってはどうか。</p> <p>行政のシステム化による能率向上は、行革の中で進んできているのではないかと思う。そこからさらにA Iによる効率化に歩みを進めてはどうか。</p> <p>また、ゆくゆくは職員の適正配置においてもこういったA Iを活用していってはどうか。</p> |
| <p>②電子申請に関して</p> <p>I T化は進めていただきたいが、行政の顧客である市民には様々な立場の者がおり、例えば書類の提出にしても電子化の恩恵を受けられる方もいれば、そういったシステムをうまく使いこなせない方もいる。そういった取り残されてしまう市民、効率化の恩恵を受けられない市民への配慮をしたうえで事務改善を進めてほしい。</p> |
| <p>③行財政改革推進本部作業部会に関して</p> <p>若い職員を行財政改革に携わらせる取組は今後も継続していくべきである。</p> |

[質 問]

[回 答]

| | |
|--|---|
| <p>① 定員管理について言及があるが、教職員の定数はどのように考えているのか。</p> | <p>小中学校の教職員は県費職員のため本計画の対象としていない。</p> <p>教職員の配置については学級数や生徒数に基づく基準が定められている。</p> |
|--|---|

(2) (仮称) 公共施設等総合管理計画実施計画の策定について

(3) 公共施設の受益者負担の適正化について

[主な意見]

①受益者負担の適正化の推進について

負担の公平性も考え、次の点に配慮したうえで受益者負担の適正化を推進していくべきである。

I 市民に対し、丁寧に説明していく。

II 有料化導入に伴う使用料徴収コストも考慮する。

III 使用料がいくらになるのかが分からないと、いたずらに市民の不安をあおることとなりかねないことから、試算した数値を早めに示す。

IV 使用料は施設間のバランスを考慮して設定する。

[質 問]

[回 答]

| | | |
|---|--|--|
| ① | 公共施設の実施計画は、駅前への人口集中・空き家の増加による地域間の人口の偏りなど、まちづくりに係る市の課題も踏まえたうえで策定を進めているのか。 | 将来の人口や財政などを考えたうえで、市民と公共施設の適正配置を考えていきたい。 |
| ② | 受益者負担の適正化に係る事務の進捗状況は。 | 今後、早期に検討を進め、市民への説明機会を設けたいと考えている。 |
| ③ | 受益者負担に係る市民の反応はどうか。 | 直近では、市政出前ミーティングを開催した。市の将来を考えた取組であるとして理解を求めたが反対の意見も多数いただいた。 |

(4) 平成29年度当初予算の概要について

[主な意見]

①事業の成果に関して

用地の取得や、ハードを整えるといった事業は成果が見えやすいが、「健康」や「観光」に係る事業などについては、いつの間にかやること自体が目的になってしまう傾向がある。

事業の目的は何なのか、成果は何なのかを市民に見えるようにし、理解を得たうえで、参加を呼び掛けるようにしてほしい。

②マイナンバーについて

この地域のマイナンバーの利用に関しては、税務申告への記載は全国一位であると聞かすが、その一方、市のマイナンバーカードの発行枚数は一万枚前後であるとも聞いた。

よくわからない、怖いといった先入観が原因で利用が広がらない状況なのではないか。

マイナンバーの積極的な活用が、総合計画が示す「自治力」の推進につながるといったストーリーを描いてはどうか。